

新実祥悟

議長の許可を頂きましたので、通告の順に従い質問させていただきます。

質問に入る前に、簡単に自己紹介をさせていただきます。私は本年4月の蒲郡市議会議員選挙において、初当選させていただきました、鹿島町の新実祥悟と申します。一問一答方式はもちろん、一般質問自体が初めてのことであり、不手際もあるかと存じますが、ご容赦頂きますようお願い致します。

それでは質問に入らせて頂きます。

- 、JR三河塩津駅周辺整備について
- 、上空通路の整備状況について

一昨年度、蒲郡を3地区に分け都市計画マスタープラン策定住民会議が行われました。私は中央地区に参加させていただきました。その場でお話しさせていただきましたのですが、塩津駅は蒲郡駅に匹敵する重要な駅であります。その理由の一つとして、市民の多くの方が知ってはいるけれど、不明確な認識でいると思われるのですが、塩津駅には市内各所から鉄道を使って、乗り換えなしで行くことができるということが挙げられます。もちろん岡崎、豊橋からも同様に来ることができます。さて現在、蒲郡駅南の周辺整備が進められています。蒲郡市民の生活の拠点でもありますし、観光客を誘導する拠点としても期待されます。蒲郡駅と同じ機能が必要だというわけではありませんが、塩津駅も何かの拠点となり得る、秘めた能力を持っていると信じています。たとえば、付近に大規模工場が誘致されれば通勤の拠点となり得ます。あるいは、横文字ではスローライフと言われていますが、ゆったりとした生活を与える場として塩津駅周辺が提供できないでしょうか。そこで、競艇場へ向かう上空通路として計画されている、油井20号線の進捗状況はどのようになっているかお伺い致します。

競艇事業部長

市道油井20号線用地の買収につきましては、平成12年から買収を開始し、個人8人と1法人の地権者のうち、平成12年に個人4人の地権者、平成13年に1法人の用地を買収させていただいております。残る個人4人の地権者の方とは、競艇事業収益の悪化等もあり未だに合意をいただいていない状況です。

しかし、地元の皆様の御協力をいただき、180日オールナイトレースの開催や、101日昼夜併用発売を行い収益の改善の兆しも見えてきました。市道認定された、油井20号線の用地確保については地域住民の方の利便もあり、用地買収に取り組んでまいります。用地買収後は道路築造に着手してまいりたいと考えております。

新実祥悟

ありがとうございます。さて、油井20号線築造に向けて動き出したということですが、将来的に上空通路として塩津駅に結ぼうとお考えなのか、そうでないのか明確ではありません。そこで、どのような絵を描いているのかお伺い致します。

競艇事業部長

上空通路につきましては、ポートタワーと、鹿島バイパスをまたぐ部分が第一期工事として15億5千万円をかけて平成5年3月に完成しました。その後塩津駅に向けての第二期工事も延び延びとなり、平成10年にナイターレースの関係で現在の計画に変わりました。上空通路建設用地の油井20号線の用地買収も進まず、現在に至っております。

上空通路につきましては、計画した当時に比べ、売り上げ及び収益が急激に低下しており、また、来場者の大幅な減少もあり、平成17年度事務事業評価において計画の改善等を指示されており、着手時期については目途がたっておりません。実施するとしてもかなり先になるのではないかと考えております。

新実祥悟

ありがとうございます。関連質問を後ほどさせていただきますので、一旦次の質問に移らせて頂きます。

、鉄道高架関連事業について

この事業は平成3年11月に仮線工事が着手されてから、今年で16年になります。今や関連事業を残すのみとなりましたが、その中に塩津駅東の油井踏切閉鎖があります。この踏切は地域の生活の一部として利用されてきたばかりでなく、以前は御料列車をお迎え、お見送りする場でもありました。そうであるからこそ、利便性だけでなく地域の方々の踏切閉鎖に対する心情的な抵抗感が大きいことも理解して頂けると思います。したがって、踏切閉鎖にともなう代替措置への細かく、厳しい要求がなされるのも当然でしょう。

そこで、油井踏切の閉鎖時期と代替道路の供用開始時期をお伺い致します。

都市開発部長

油井踏み切りの閉鎖時期は、現時点では8月下旬（お盆明けの8月20日）を予定しています。

また、代替道路の併用開始時期は、当然ですが油井踏み切り閉鎖より前の8月上旬を予定しています。

新実祥悟

ありがとうございます。ところで、このアンダー道路は通学路として利用されると聞いています。そのための配慮はなされていますか。

都市開発部長

アンダー道路は、幅員7.5mで車道部分を5mとし都川沿いに2.5mの歩道を設置してまいります。アンダー道路が最終的に通学路になるかどうかは各学校で決定されますが、油井踏切部の歩道橋が併用開始されるまでは、拾石・鹿島町方面からの自転車通学の生徒さんが通学路として使用することが考えられますので、歩車道の分離をするためのガードレールまたはガードパイプを設置することと、歩道を自転車通行可能とすること等の対策を考えております。

新実祥悟

さて、このアンダー道路は、いかにも付け焼刃的に作られたかは火を見るよりも明らかです。なぜなら、国道23号線につながっておらず、地元的生活道路が抜け道として利用されることが明らかだからです。そこで、このアンダー道路を国道23号線につなぐお考えがあるかどうか伺います。

都市開発部長

国道23号線に接続する考えであります。今年度予算にも国道までのアクセス道路の調査費を計上しております。

新実祥悟

それでは、その接続時期を伺います。

都市開発部長

極力早い時期に接続したいと考えております。道路築造の工法についても地元のご意見を聞きながら検討してまいります。もちろん地権者の方のご協力が無ければできません。

新実祥悟

重ねてお伝えしますが、広くても6mの生活道路を、地区の様子を知らない運転者が通り抜けるのはとても危険です。地権者の方への配慮をしながら、本年度中にも着工のめどを立てていただくよう強く要望いたします。

もう1点お伺い致します。紆余曲折はありましたが、油井踏切上に歩道橋が設置されることとなりました。この油井歩道橋の供用開始時期をお尋ねいたし

ます。

都市開発部長

平成20年2月中旬の工事完成を予定しております。工事完成後なるべく早く供用開始をしたいと考えております。

新実祥悟

ありがとうございます。ところで、この歩道橋案が決定され、設計が始まったのはいつのことですか。

都市開発部長

平成17年3月に愛知県から歩道橋案が示され、平成17年7月から愛知県と蒲郡市で設計協議をはじめました。

新実祥悟

そうしますと、それ以降での地元の要望を受けての設計の変更や追加は無理だったということですか。

都市開発部長

設計は、国及び愛知県の基準に従って設計しております。地形的に制約された条件の中で、できる限りの配慮をした設計と考えております。階段部の勾配は25%で健常者が通常自転車を押して上げられる勾配です。通路幅は3.0m、階段部は斜路付とし、斜路幅0.6m、階段幅2.0m(1.0×2)、全幅2.7mで踊り場・手すりを設置し、通路部に転落防止・物投げ防止のためのフェンスを設置します。エレベーターが設置できないかとの意見もございましたので、県にも検討していただきましたが、塩津駅の規模や状況等から国庫補助事業として採択基準に合致せず、設置は困難と判断いたしました。なお、平成18年6月の工事説明会や、同7月及び11月の塩津地区開発委員会には事業主体である愛知県職員も同席しておりました。会議の中で要望事項は愛知県に報告しております。

新実祥悟

お話するまでもなく近年、バリアフリーという施策を超えて、街づくりをするにもユニバーサルデザインを考えましょうといわれています。今では、足の筋力が衰えてきた高齢者の方々を含めて、障害のある全ての方々にも不自由なく生活できるようにしましょうという考え方を超えて、この方々にも楽しく人生を送って頂くにはどうすれば良いのだろうか、そのような施策を実現するに

はどうすれば良いのだろうかということを真剣に考える時期に来ています。今回の歩道橋設計にあたって、ほんの少しの配慮があれば、どなたからも高い評価が得られたと思います。

また、ユニバーサルデザインとは構造物だけについて言っているわけではありません。誰もが視認できる表示物、つまり人が観ることによって認識する看板などですが、それにおいても考慮されなければなりません。ところで本駅名称は、JRでは三河塩津駅、名鉄では蒲郡競艇場前駅という二つの名称があります。これでは市外の知人を案内する場合、説明しづらばかりでなく、受け取り方によっては錯誤が起こり得ます。そこで伺いますが、本駅名称の統一をJR、名鉄におはかり頂くことはできますか。

都市開発部長

駅名について変更する場合は国の許可が必要となることや、関連各駅の表示、時刻表等の改正など膨大な手間と費用がかかることから、よほどの理由が無いと変更することは無理だと聞いております。既存の駅名の変更を正式に鉄道事業者に要望していく考えはございません。

新実祥悟

経営上の判断となれば仕方ありません。当局の皆様におかれましては、施設整備などのハード面だけでなく、今後計画されているソフトも含めた全ての施策の中に、ユニバーサルデザインを超えた考えを取り入れてくださいますようお願い致します。

また、現在掲示されている表記類ですが、国際観光都市を標榜するにあたっては、外国語表記のものについては再度確認して頂きますよう、重ねてお願い致します。というのも、市役所案内板の英語表記についてですが、以前の建設省ですが、現在の国土交通省の表示板と、愛知県（蒲郡市）が設置したのでしょうか、その表示板とに違いがあるからです。つまり、これが正しいと思うのですが、国土交通省の表示板は『City Hall』となっているのに対し、もう一方は『City Office』となっているからです。英語は苦手ですので細かいことは分かりませんが、知り合いのアメリカ人の言うことには『Office』とは1つの部署を表す事務所のことで、色々な部署が集まっている建物なら『Hall』というのが妥当だろう、とのことでした。アメリカ人からこのような指摘がありましたので、付け加えさせていただきます。

、競艇場のあり方と将来展望

蒲郡競艇場は、とかく後ろ向きに捉えられがちですが、企業も人口も少ない中、蒲郡市の財政を担ってきたことは間違いありません。市内の小中学校校舎も競艇場の収益で建設されたと聞きます。また、有料ではありますが、一般市民がモーターボートのレースを楽しみながらグループ活動できるようなレンタルルームもあります。最近では、昭和アーケードを開くなど、事業部が市民に開かれた施設となるよう努力していることは評価できます。しかしながら、それでも競艇場が閉鎖的であるとの感は払拭できません。それはなぜでしょうか。当局の皆様にも、市民の皆様にもしっかりと見て頂きたいのですが、系統的な競艇場周辺整備がなされていないからだと私は思います。近い将来、競艇場が赤字になって、いずれ施設を更地にし、他の利用方法を考えているというのであれば、無理な開発をせずに収益を基金に積んで置くことを強くお勧めしますが、そうではあっても色々な状況を想定して画を描いておくべきだと思います。そこで、近い将来で結構です。競艇場とはどうあるべきか。市民の皆様とともにあろうとするのかお伺いします。

競艇事業部長

競艇場はどうあるべきか、市民の皆様とともにあろうとするのか、とのご質問ですが、私ども競艇事業部は常にお客様第一との気持ちで競艇場を運営しております。施設整備、イベント開催、ファンサービスなどもお客様の気持ちに立ち計画・実施をしております。市民の皆様には競艇場を気軽に利用していただくために、可能な限り施設の開放を行っており、農林水産まつり、フリーマーケット、トライアスロンは定着した行事となっております。それ以外にも海洋少年団の訓練、子供会の行事、消防の訓練等に使用していただいております。

また、本年4月に法改正があり、国土交通大臣の承認をいただければ入場料が無料化できるようになりましたので、本6月議会で条例の改正をお願いし、早い時期に無料化したいと考えております。無料化が実現できればレース開催中の各種イベントの開催が容易になり、より広く市民の皆様にご利用いただけると考えております。

収益を基金に積んで置いてはとのご提言については、将来の施設改善のため、できる限り基金に積んでおります。

これからもお客様、市民の皆様にご愛していただける競艇場を運営してまいりますのでご理解よろしくお願いたします。

新実祥悟

ありがとうございます。競艇場周辺対策会議においても明らかになりましたが、競艇事業部と、本庁との情報交換がうまくなされていないようです。横のつながりをしっかり取り、地域の一員であるという認識を持ち、誰からも利用しやすい、愛される競艇場となるよう業務に励んでいただきますようお願い致します。

- 、指定管理者制度の現状について
- 、導入後の成果と今後の方針

新実祥悟

昨年度、指定管理者制度のもと、複数の公共施設が民間団体などによって管理されるようになりました。多くは、積極的に自主事業を行い、市民サービスの向上に務めているようです。その一方、この一年は過渡期でもあり、問題点も増えてきました。そこで、当局としての総括として、18年度の成果について伺います。

総務部長

蒲郡市の指定管理者制度については、平成18年度から7課21の施設で導入しました。

指定管理者制度では、経済的なメリットと民間が施設管理することによる市民サービスの向上が期待されますが、そのうち、施設管理経費では、従来の管理費に比べ、約10%、4700円ほどの経費削減となっています。また、生気の職員数については、平成18年度では、従来までの管理委託制度による管理をしていた施設を中心に実施をしましたので、職員数としては2名の減となっています。また、正規の職員数については、平成18年度では、従来までの管理委託制度による管理をしていた施設を中心に実施をしましたので、職員数としては2名の削減になっています。

施設管理については、これで1年を終え、事業報告書を提出させています。このうち各一部については、7回の議会図書室に配置をさせていただいているところです。施設の管理運営をする基本的な事項は協定書の中で明記をしてあり、これについては概ね満足する内容となっています。基本的なもの以外では、勤労青少年ホームにおける「ヤングカウンセリング」の実施、公園グラウンドでの「野球教室」などの実施、事業を廃止する業者から芝生をもらいうけ、これを陸上競技場へ張替、ユトリーナ蒲郡での「アクアフィットネス」や様々な催事の開催、竹島水族館の「水族館裏側探検ツアー」の実施など、市がそのまま管理運営していても、なかなか実施しにくかったと思われる事業を次々と展開していただけています。

良いことばかりでなく、逆に指定管理者制度の難しい一面を見せ付けられる場面もありました。昨年11月の市民会館における指定管理者の、指定期間中における指定取消です。これにつきましては、市民や議員の皆さんに多大のご心配をおかけし、指定管理者の関連事業者にもご迷惑をおかけしました。これを糧に、次回指定管理者選定時は慎重に対処してまいります。

新実祥悟

ありがとうございます。市民会館につきましては、指定管理団体の破綻により、支出した管理費が返却されない状況にあります。とても残念ではありますが、民間団体にお任せする上では当然、想定されていたことです。ただ、新しい企画を積極的に遂行するには、時には冒険も必要です。責任論を先行させては何もできなくなってしまいます。事なかれのお役所主義というのはこのようなところから生まれるのではないのでしょうか。そうであってはならないというのが市民の総意だと思います。しかし、もちろん今後はこのようなことにならないような策を考えなければなりません。その上で、この制度に限らず、良い企画はこれからも積極的に活用していかなければならないと思います。

さて、この制度を進めるにあたって、民間選定委員を選任しなければなりません。そこで伺います。選定委員として民間の方の応募状況はいかがですか。会計士さんをお願いしてはどうかという案もあるようですが、無給、実費弁償なしの中、受けて頂ける方がいると思いますか。また、対価を支払うことや、実費弁償することは考えられますか。

総務部長

指定管理者の選定に当たりましては、市長、教育委員会は指定管理者選定委員会に諮問をし、これに対する答申を尊重して指定管理者候補者の決定をしています。

選定委員会は副市長を委員長に、企画部長他の内部委員と公募による外部委員から成っていますが、外部委員につきましては、新実議員さんが、議員になられると同時に辞任されましたので、現在2人の委員さんとなっています。要綱上では4人以内となっておりますので、5月1日号の広報がまごおりで再度公募しましたが、残念ながら応募はありませんでした。外部委員さんにつきましては、2人では少ないと考えておりますので、何らかの方法で是非増やしてまいりたいと考えています。

なお、外部委員さんの報酬につきましては、平成17年以来、無報酬でやらせていただいておりますが、現在までと同様に、ぼらんていあ精神溢れる方で積極的に市政に貢献していただける方をお願いしたいと考えています。

また、指定管理者選定に当たりましては、予め、今年度から制度化しました顧問公認会計士に会計書類について審査をお願いし、顧問会計士の意見を付した上で、選定委員会の委員さんに資料として提供し、ご協議いただく考えています。

新実祥悟

実は、外部委員さんに対価を支払わないほうがよいというのが、私たち昨年

度までの外部委員の一致した考えでもありました。今年度応募される方がいなかったということを受け、だから対価を支払えとは言いませんが、民間から選定委員を受けて頂きやすいような方法を、是非お考え下さい。

次に、本年19年度の委託状況、つまり委託施設数、予算としての経費節減額を伺いますとともに、それぞれの自主事業に対する評価を伺います。

総務部長

平成19年度には、市民体育センターなど19施設について、指定管理者制度に移行しています。

そのうち、観光園地等については、指定管理者の移行に合わせて清掃回数などを増加、充実させたため管理量は284万円ほど増加していますが、とよおか湖を含む6つの都市公園で837万円の減額、市民体育センター等で1,339まんえんほどの減額になっており、合計で1,891万円の減額となっています。また、職員数については、市民体育センター等で3名の減となっています。

一方自主事業につきましては、市民体育センターにおきまして、体育館シューズ、テニスシューズやラケットの貸し出しを、リサイクル品を利用して行っています。食育講座も始まっており、また、テニス工と管理に関連してテニススクールの開講も予定されています。まだ、事業の運営を始めてから2ヶ月ほどでこのような事業の展開もあり、他の施設につきましても期待をしているところです。

新実祥悟

ありがとうございます。短い期間に新しい事業展開もあると伺い、ますます市民サービスの向上につながるものと期待いたします。

さて、本年度は市民会館を再度募集していると聞きますが、現在の応募状況をうかがいます。

総務部長

集中改革プランの指定管理者実施計画においては、平成20年度に指定管理者制度に移行する施設は予定をしていませんでした。しかしながら、先ほど、少し触れましたが、指定管理者が指定期間中に取消処分になり、現在は市が直営をしています、市民会館について、平成20年度から再度、指定管理者制度に移行したいと考えております。5月1日から31日まで募集したところ、8団体の応募がありました。内訳は、県内からのものが5団体。県外からのものが3団体で、市内からの応募はありませんでした。先程述べましたように、提出のあった書類のうち、財務関係につきましては、顧問公認会計士にチェック

の依頼をし、その後、選定委員会に諮問をし、選定作業を進めていく予定です。

新実祥悟

選定にあたって特別に留意する点、あるいは管理者に対する指示などがありますか。

総務部長

今回の選定にはやはり、財務関係のチェックを特に重点的に行いたいと考えています。また、選定基準については、「総合点数方式」とし、審査の基準、観点を明確にしていけますが、応募者に対しては質問程度に留め、施設管理上の指示等については、協定書を結ぶ際に、指定管理者に決定した団体と協議してまいります。

新実祥悟

私は、管理を民間団体にお任せする以上、行政側からこと細かく指示や要求を出すべきではないと思います。このようなことをすれば、応募がなくなるばかりでなく、それに伴う経費もかかり、自主事業もままならないことになるでしょう。これでは指定管理者制度の意味はなくなり、市民サービスの向上も望めません。この点についてはどのようにお考えになりますか。

総務部長

指定管理者制度は民間の持つノウハウや自由な発想を効果的に施設に導入しようとするものですから、基本的には、協定書の範囲内で指定管理者の裁量に従って施設運営をすべきものだと思います。先程紹介しましたように、能力ある指定管理者はどんどん自主事業という形で市民サービス向上に貢献してくれています。ただ一部には、自主事業について、担当課が後になって知るというケースもあり、これなどは普段からの意思疎通を円滑にしていける必要があると思います。また、行政に馴染みの薄い業者などには、ある程度の指導の必要もありますし、業者の自主、自立の気持ちとバランスをとりながら、施設管理を進めてまいりたいと思います。

新実祥悟

ありがとうございます。指定管理者と担当課の意思の疎通が円滑でないところ、問題が発生する一因があると思われます。この点につきましては、是非両者に指導していただきたいと思います。

次に本年度以降の公募予定についてうかがいます。

総務部長

集中改革プランの指定管理者実施計画に従っていきますと、市民会館の再指定の次は、平成21年度の市営住宅と図書館、平成22年度のひめはる荘、養護老人ホーム、清幸園、下水道浄化センター、ポンプ場、博物館となります。

平成22年度の予定の施設の中には、指定管理者制度を考える前に、施設の継続自体を議論する必要があるものも含んでいますが、平成21年度の市営住宅と図書館については、今年度が既に選定の年の前の年度となりますので、担当課には検討、研究を急ぐよう話をしているところです。

指定管理者制度は万能ではありませんが、行政改革を進めていくためには、積極的に検討していくことが不可欠であると考えていますので、議員の皆様にも是非、ご理解をお願い致します。

新実祥悟

ありがとうございます。ただいま図書館という名称が出ました。私は、経費削減のためには指定管理者制度を最大限利用すべきだと考えますが、それは、市民サービスを考えた場合、どうしても単独の施設でなければならない場合に限ると思います。施設によっては統合したほうがよりよい市民サービスを提供できると思いますが、図書館はどちらに入るでしょうか。これに関連して質問の対象を移行させます。

- 、第4次蒲郡市総合計画案について
- 、計画策定予定とその内容について

新実祥悟

現在履行されている、第3次蒲郡市総合計画は平成13年度から平成22年度までのものですが、これを策定するにあたって、2年半ほど要しているようです。前例を踏襲するなら、これに続く平成23年度より始まるであろう、第4次蒲郡市総合計画案策定のタイムリミットが来ていると考えます。そこで、第4次蒲郡市総合計画案についてどのようにお考えになっているのか、あるいはその進み具合について伺います。

企画部長

ご案内のとおり、現在の総合計画「第3次蒲郡市総合計画」は、平成22年度を目標とした計画でありこの総合計画を実現するために毎年度「実施計画」を策定して、その実現に努めているところであります。

さて、お尋ねの「第4次蒲郡市総合計画案の進み具合」であります。目標年次までは、今年度を含めてあと4ヵ年次あります。現段階では、新総合計画をどうするのかは白紙の状況であります。来年度または再来年度から検討に入ることになるかと考えております。

新実祥悟

どのような手順で策定されますか。マスタープラン策定にあたって開かれたような、あるいはそれをもう一步深めるような住民会議を開催し、市民の意見を取り入れるお考えはありますか。

企画部長

これも先程のお答えと同様、来年度または再来年度からの検討と考えております。なお、新総合計画の策定にあたっては、当然ながら時代の流れ、その中で本市がどのような状況にあるのか等を分析しながら、併せて市民のお考えを広く聞くとともに、議会の皆様のご意見などもお聞きしながら進めていくことになるかと思っております。

新実祥悟

ここで、先ほどの図書館を例にあげて質問させていただきます。図書館の年間の管理経費はいくらかかっていますか。また、耐震化についてはどのようになっていますか。

企画部長

図書館の年間管理経費は、19年度当初予算では1億2千7百43万9千円です。耐震化につきましては、学校を優先して整備していきますので、まだ先になります。

新実祥悟

平成21年度より図書館を指定管理に出そうということですが、そうした場合は、現状の例で行きますと3年間は契約上、手を付けられなくなってしまいます。前例主義で契約更改をすれば、次の3年間も手を付けられません。その間、7億6千万円程度の経費が使われることになります。当然、耐震化についても考慮しなければなりません。こうであるなら、いっそうのこと、どこかの施設と統合してはいかがでしょうか。たとえば、情報ネットワークセンターと統合して、つまり希少価値の高い化石や電磁的図書を合わせた総合ライブラリーにすることは、いかがでしょうか。第3次蒲郡市総合計画にのっとり、蒲郡駅南の周辺は整備されつつあります。当然、ここは蒲郡市の玄関として多くの人の流れがほしいところです。そこで、利便性の高い総合的な図書館、つまり総合ライブラリーがあれば、学生を含め今よりもっと多くの人の流れが生まれるでしょう。もちろん、周辺の経済効果も期待できます。現在の図書館跡地は、旧看護学校と合わせて、更地にして売却することも考えられます。そこで伺います。第4次蒲郡市総合計画案に「施設の統廃合による市民サービスの向上と経費削減」を盛り込んで頂きたいのですが、それはできますか。あるいは、それを待たずにこの政策を打ち出すことはできますか。

企画部長

現総合計画では「行政改革の推進」あるいは「行政運営の効率化」と位置づけております。表現は違いますが、この位置づけの中で「公共施設の統廃合による市民サービスの向上と経費削減」は考えておりますし、可能なものから具体的に努めております。具体的には、施設の統廃合ではありませんが、施設の複合機能化として、勤労福祉開会の中に「市民活動サポートセンター」を設置しましたし、マリンハウスセンターの中に、繊維のアンテナショップ「夢織人」を設置したところであります。なお、新総合計画を策定する場合も、当然ながら本趣旨を踏まえたものになるものと思っております。

新実祥悟

ありがとうございます。それでは具体的に、図書館等の統合を行うことはできますか。

企画部長

情報ネットワークセンターは、規模・構造的にも現有図書館規模以上の併設は困難であり、これ以外の市の施設でも、物理的に図書館と施設統合できるようなものは見当たりません。

新実祥悟

図書館に限らず、どうぞ、できない理由を探すのではなく、どうすればいいのかという可能性を探っていただきたく思います。

それでは、次の質問に進みます。

先ほど、鉄道高架関連事業、競艇場関連事業について質問させていただきました。ところが、地元では塩津駅周辺という一つの問題であるにもかかわらず、事業としては鉄道高架関連、競艇場関連という別々のものになっています。あるいはまた、競艇場の駐車場用地として利用されていた、竹谷町油井浜地内の蒲郡市土地開発公社所有の土地についても、不良在庫を片付けるかのように売却されることになりました。このように、先ほど述べましたように、蒲郡市にとって重要な駅にもかかわらず、一貫性のない整備が行われようとしています。なぜかといえば、総合的な整備計画がないからでしょう。そこで、塩津駅周辺の総合的な整備計画が立てられるかどうか伺います。

企画部長

塩津駅周辺につきましては、区画整理や再開発という手法での総合的な面整備は考えておりませんが、各事業の横の連携が図られてないというご指摘でありますので、まずは横の連携を深め、既存の事業計画の一部見直しを含めて、調和ある事業推進が図られるよう調整してまいりたいと考えておりますので、ご理解いただけますようお願い致します。

新実祥悟

それでは、塩津駅周辺整備計画として、第4次蒲郡市総合計画案に加えることができるか伺います。

企画部長

先にご答弁申し上げましたように、来年度または再来年度から検討に入ることになることから、その時点での検討になると考えています。

新実祥悟

さて、10月にはすでに告示日が決定されているように、本市では市長選挙が行われます。ところで第4次蒲郡市総合計画は次の任期の途中からはじまる

ものです。当然、次の市長を目指す方には、この点について言及していただくだけでなく、しっかりと夢を語っていただき、市民の皆様に希望を与えていただきたいところです。幸い、再選を目指している方がこの場にもいらっしゃいますので、この件についてどのようなお考えをお持ちかお伺い致します。いかがですか、金原市長。

市長

第4時総合計画につきましては、先ほど話しましたとおりです。当面私の選挙に向けて、私の希望を語ってまいりたいと思います。それは、安全安心の街づくりを一番の施策として、自然と共生する蒲郡、明るく元気な街づくりに励んでいただきたい。具体的な政策につきましては、後程といたしますか、おいおい発表してまいりたいと思います。

新実祥悟

ありがとうございます。これにて質問を終わります。